

川井浄水場再整備事業の進ちょく状況について

1 川井浄水場再整備事業について

川井浄水場は明治 34 年に創設されたもので、昭和 38 年に現在稼動中の主要施設を築造しましたが、老朽化と耐震性の問題があることから、更新を行うこととしました。

更新にあたっては、既存の施設を運転しながら行う必要があることから、急速砂ろ過方式に比べ、省スペース化ができ、また、水源である道志川との高低差による位置エネルギーを有効利用することができる、膜ろ過方式を採用することとしました。

また、膜ろ過方式は新しい技術であるため、民間の技術・ノウハウを利用できる P F I^{※1}手法を採用し、設計・建設・維持管理を一体とした事業とすることで、トータルコストの削減が見込めることから、P F I を活用した再整備を進めることとしました。

※1 PFI: 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用して行なう事業手法です。

表－1 事業の概要

項目	内容
事業名	川井浄水場再整備事業
契約の相手方	ウォーターネクスト横浜株式会社
契約金額	27,679,173,328 円(税込み)
事業期間	平成 21 年 4 月 1 日～平成 46 年 3 月 31 日
施設整備期間【第 1 段階】	平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
" 【第 2 段階】	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
運転・維持管理期間【20 年間】	平成 26 年 4 月 1 日～平成 46 年 3 月 31 日
規模・主要施設	
浄水処理能力	生産水量 : 171,070 m ³ /日以上
浄水処理方式	膜ろ過方式(セラミック膜)
配水池	有効容量: 30,000m ³
排水処理施設	排水・脱水処理施設

2 事業スケジュール

平成 21 年 4 月 1 日からの事業開始後、事業者及び局内で執行体制を整備し、事業者との工程等連絡会議を毎月開催するなど、事業が円滑に進ちよくするように、きめ細かな調整を行っています。

旭区及び瀬谷区選出市議員、地元自治会の皆様には、4 月下旬から 5 月にかけて事業説明を行いました。

現在、7 月上旬の本格工事開始に向けて、測量等の準備作業や、工事の設計等を行っています。

表-2 事業スケジュール

実施年度 実施内容	21年度												22年度 ~25年度	26年度 ~45年度
	~6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
施設整備【第1段階】														
フェンス設置、工事用道路整備等	← 7月上旬 →													
既存施設撤去工事	← 8月上旬~ →													
膜ろ過棟、配水池等の工事	← 設計 →												← 3月~ →	
施設整備【第2段階】														
既存浄水施設の撤去工事														26年度
運転・維持管理														← 26~45年度 →

参 考 P F I 事業者決定までの経過

時 期	項 目
平成 19 年 12 月 14 日	実施方針の公表
平成 20 年 3 月 3 日	特定事業の選定・業務要求水準書（案）の公表
平成 20 年 6 月 3 日	入札説明書等の公表
平成 20 年 9 月 24 日	入札・提案書の受付
平成 20 年 12 月 4 日	落札者の決定
平成 20 年 12 月 26 日	基本協定の締結
平成 21 年 2 月 27 日	事業契約の締結
平成 21 年 4 月 1 日	事業開始

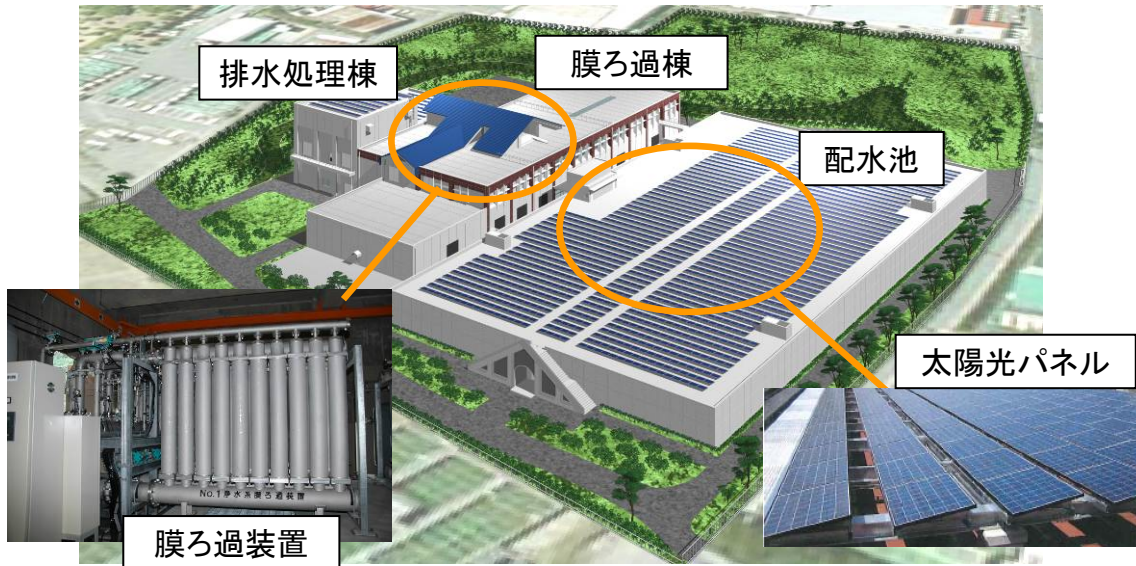
ウォーターネクスト横浜株式会社

所 在 地	西区北幸二丁目 8 番 4 号	代表取締役	川上 徹
設立年月日	平成 21 年 1 月 22 日	資 本 金	1 億円
株 主	メタウォーター株式会社（膜ろ過装置の製造を担う者、機械・電気工事の一部、維持管理の一部） メタウォーターサービス株式会社（第三者委託受託者、維持管理の一部） 三菱UFJリース株式会社（財務管理） 月島機械株式会社（汚泥有効利用管理） 東電工業株式会社（機械・電気工事の一部、維持管理の一部） 東電環境エンジニアリング株式会社（維持管理の一部） 東京電力株式会社（エネルギーの供給（電力））		

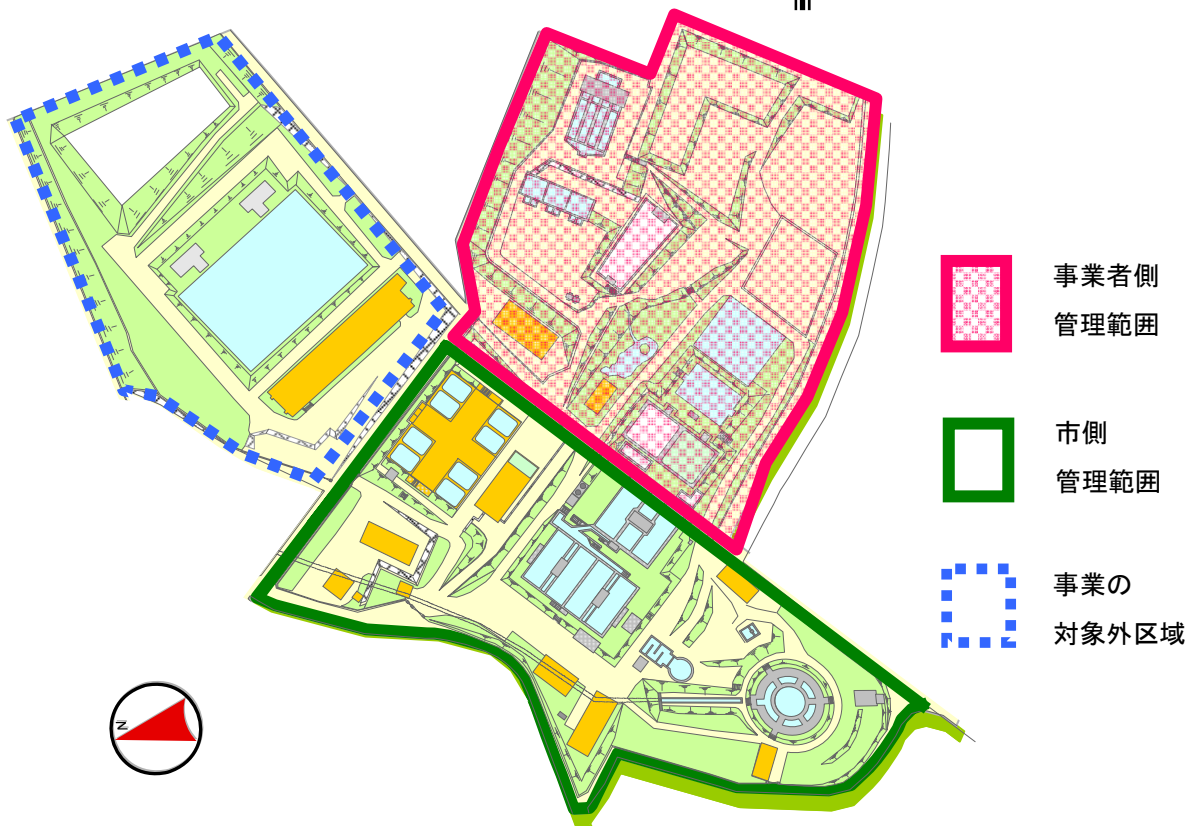
主な協力会社：鹿島建設株式会社（土木・建築工事）、株式会社東京設計事務所（設計、工事監理）

川井浄水場再整備事業
施設概要図及び再整備事業管理範囲（参考）

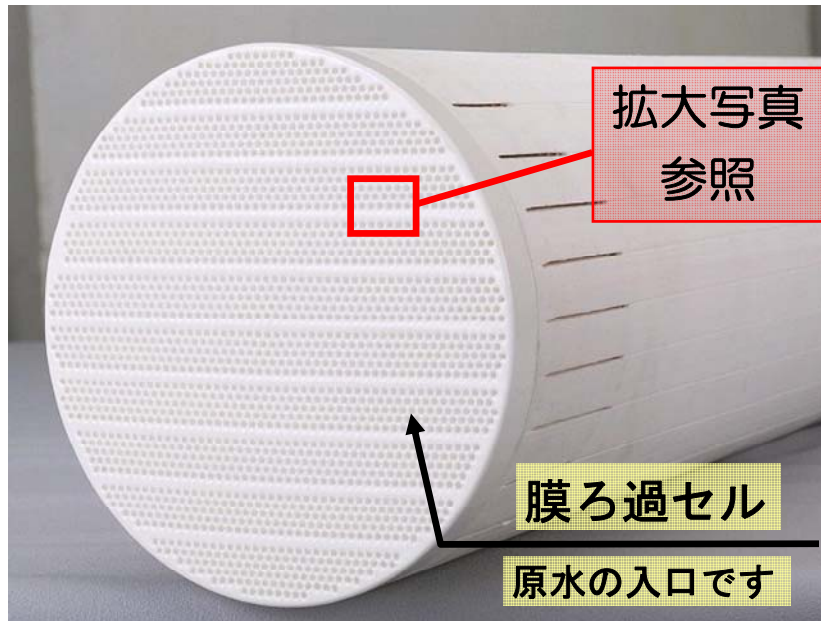
施設概要図



再整備事業管理範囲



セラミック膜 外観写真



セラミック膜 拡大写真(断面構造)

